

日本の家紋は二万種類以上あるといわれ、世界でも類のない日本独特の文化のひとつです。家紋はもともと公家が文様として衣服や調度品、牛車などに用いていたもので、それを武士が戦場での目印として、旗や幟、兜などに用いるようになり、やがて家を表すものとなりました。そして、神社や寺のようにさまざまな組織がその象徴として紋章を用いるようになりました。

さて、学校を表す紋章といえば校章です。梅を図案化した梅紋には梅の花をかたどった梅花紋と、五つの円を梅の花びらに見立てた梅鉢紋があります。中川区の小学校の校章にも梅鉢紋がデザインされたものがあります。校章にはその地域にゆかりの深いものが図案に用いられることが多くありますが、これらの梅鉢紋は前田家の家紋である加賀梅鉢に由来し、加賀百万石の祖となった前田利家のような偉人が輩出するようになると念願したものだそうです。

ところで、梅紋でもっとも有名なのが菅原道真を祀った天満宮の神紋です。また、梅鉢紋を用いた美濃齋藤氏は領内各所に天満宮を勧請したそうです。江戸時代に菅原道真の末裔を称するようになった前田家も美濃齋藤氏の出だといわれています。したがって、前田家の梅鉢紋はそもそも菅原道真、つまり学問の神様に由来しているともいえます。そう考えると、梅鉢紋は学校にぴったりの図案なのではないでしょうか。

富士権現天満宮（荒子四丁目）



あらこじょう いちぶ つた
荒子城の一部だったと伝えられ
ふじごんげんてんまんぐう うめ う
る富士権現天満宮には梅が植えら
れています。

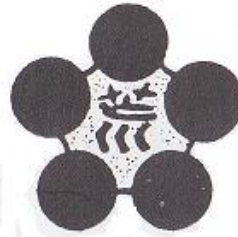


社殿の神紋

しゃでん まえだけ かもん おな か
社殿には前田家の家紋と同じ加
がうめばち もんしょう
賀梅鉢の紋章があります。

梅鉢紋がデザインされた中川区の小学校の校章

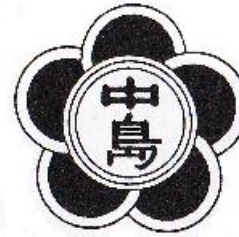
荒子小学校



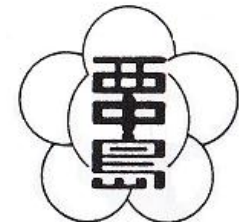
野田小学校



中島小学校



西中島小学校



西前田小学校



校章図案は『中川区史』より

なかがわく か が ひゃくまんごく そ まえだといえ いじん はいしゅつ
中川区には加賀百万石の祖となった前田利家のような偉人が輩出
るようと念願し、校章に前田家の家紋である加賀梅鉢の図案を用いた
がっこう ねんがん こうしょう まえだけ かもん か が うめばち ずあん もち
学校があります。学校区に富士権現天満宮がある荒子小学校から野田
しょうがっこう なかじましょうがっこう どくりつ なかじましょうがっこう あらこしょうがっこう のだ
小学校と中島小学校が独立し、中島小学校から西中島小学校が独立し
にしまえだしょうがっこう きゅうまえだむら
ました。西前田小学校は旧前田村にあたります。